

鼓童

2017

Autumn

vol. 368

KODŌ



―特集―

―構成・編集―岩村文雄(ライター)、編集部

研修所と能楽

鼓童の舞台を花にたとえれば、土を耕して根を育むのが研修所だ。

舞台メンバー養成を目的に始められた研修制度だが、

鼓童文化財団の設立を機に、舞台に直結する太鼓や踊り以外にも

様々な稽古や農作業、ものづくりなどをカリキュラムに取り入れていった。

その一つ「能楽(能・狂言)」について考えてみたい。(文中敬称略)



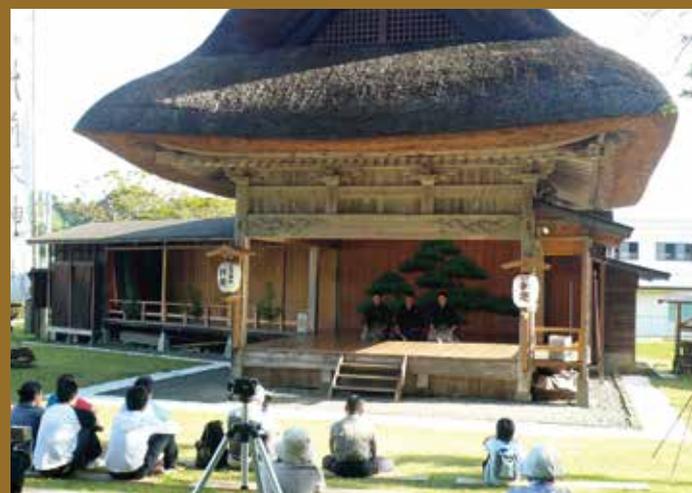
佐渡には今も30以上の能舞台が現存し、その数は国内の1/3を占める。その殆どは寺や神社の境内にあり、佐渡島内の能楽団体が行う薪能で、島民や観光客の目を楽しませ、また地域の集会所を兼ねるなどして保存・活用されている。(地図の●は能舞台の場所を示す)



鼓童の舞台メンバー養成を目的とした研修制度は一九八五年から始まったが、鼓童文化財団が設立された一九九七年、柿野浦の研修所(全寮制)で2年制の研修制度を新たにスタートさせた。鼓童の基本理念である「くらす・まなぶ・つくる」を柱に、まず何よりも生き方を磨くことに重きを置いたカリキュラムを通して、研修生の心身を耕していったのである。

2年制の研修所では、スタッフ志望者を含む多様な才能と、鼓童に限らず広く社会に出て活躍できる人材の養成を主眼にカリキュラムが編成された。能楽もその一つで、「能が盛んな佐渡に居るのだから勉強してみようか」と提案したのは、現在鼓童文化財団事務局長を務める本間康子。

今も島内各地に能舞台があり、「農家の人が畑仕事で謡曲を口ずさむ」というほど、



羽茂祭りにて、謡の稽古の成果を披露(2011年)

盛んに能が演じられている佐渡。世阿弥が佐渡に配流されたことも無縁ではないだろうが、これほど能が広まったのは能楽師出身の佐渡初代奉行・大久保長安によると言われている。

本間は学生時代に能のサークルで謡や小鼓に触れた経験を持っていた。佐渡に来てからは羽茂の弘仁寺の先代住職・目下敬舜の紹介で、小鼓・幸清流の指導を松永政雄から受けていた。松永は、能を学びたいと思う人には惜しみなく自分の知識や芸を伝える人柄で、研修生への謡の指導も、依頼すると快く引き受けてくれた。

同じ頃、やはり弘仁寺に縁のあるプロの狂言方小笠原匡の指導も受けられることになり、一九九七年に能(宝生流)と狂言(和泉流)の稽古が、研修カリキュラムに同時に加わった。



朝倉俊樹先生の稽古で能面を体験
(2015年)



松永先生の能の稽古
(1997年・鼓童村和泉邸)



羽茂祭り・草苺神社能舞台にて仕舞を披露
(2015年・吉田航大)



雪の舞う中での発声練習
(2000年・石塚充、阿部好江など)

松永 政雄 (まつなが まさお)

1930年佐渡・羽茂村に生まれる。10代の頃より謡と小鼓の稽古を始める。謡と囃子の拍子を徹底的に研究し、後進の指導に情熱を傾けた。1979年に宝生流囃託、1980年に幸清流小鼓方準職分となる。2010年には佐渡の能楽界の発展に尽力した功績を称え、顕彰碑が羽茂・草苺神社能舞台の傍に建てられた。松永先生は本年9月21日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

朝倉 俊樹 (あさくら としき)

能楽師シテ方宝生流。1958年東京生まれ。十八世宗家宝生英雄に師事。1965年「鞍馬天狗」の花見児で初舞台。宗家の内弟子を勤めた後1984年に独立。1986年からの数年間で能「道成寺」「石橋」「乱」を披く。2001年に重要無形文化財能楽保持者に認定。2003年に能「翁」を披く。現在、公益社団法人能楽協会東京支部長を務める。

稽古の様子

研修生にアンケートを取ると、必ずといっていいほど「太鼓を二十四時間、毎日叩けると思っただけで、農作業や陶芸などいろんなことをやらされて、なかなか太鼓に触れられない」というコメントがある。中には能が好きだという研修生もいるが、能や狂言に対して、「なぜ？」という気持ちがあったに違いない。

能も狂言も声、つまり謡が基本である。当初、研修生らは謡の本を見ても首を傾げるばかり。一句ずつ松永が謡い、研修生がそれに続けて謡うという稽古をしても、なかなかそれらしい発声をするにはできなかった。

柿野浦の研修所が開設して3年目の研修生だった石塚充は、「当時は狂言の芝居を、セリフを覚えて丸々1つやりました。冬は声を鍛えるんだと言われて、崖の縁に立ち、下から吹き上げる風に向かって発声練習を2、3時間やるんです。『もつと声を出せ！』って。苦しい体力作り、精神作りでしたね。」と、厳しかった研修生時代を振り返る。

能の稽古は1年生の秋に始まる。始めた頃は素謡で羽衣、橋弁慶、鶴亀、紅葉狩など複数の曲の一部分を、半年ほど稽古して終わりだったが、二〇〇三年からは松永の勧めで毎年三月に行われる「佐渡囃子会」に研修生が地謡で参加するようになった。笛方の藤田朝太郎（二噌流）が能管の指導で年に数回来島しており、その一環で開催。実際の能舞台に出て、佐渡の能楽愛好者による舞・囃子に合わせる地謡（しうたい）方として本番を経験するのである。

二〇〇六年には、六月の羽茂祭りで行われる草苺神社の舞台に、研修生だけの謡や、仕舞を披露する形で参加。こちらも現在まで続いている。こういった場で発表できることは、研修生のモチベーションにもつながっていることだろう。

能舞台に出るためには、着物と袴の着付けも必要だ。茶道も合わせると、研修期間中には相当な回数、着物を着たり畳んだりする機会がある。強制したわけではないが、修了式の日、研修生は着物や袴を着用して臨むことがいつしか伝統となった。

稽古の厳しさ、楽しさ

小笠原の狂言の指導は二〇〇九年まで続いた。石塚の後には、狂言の芝居ではなく小舞の稽古が中心になった。自分で謡いながら舞うのが特徴だ。動く息が続かず、謡に気をとられると足の運びがおろそかになる。研修生は普段から鼓童の唄の演目の稽古はしているが、5、6人が束になって声を出しても、向かい合う小笠原一人の声にかなわない。小笠原は、プロの舞台人を目指す者として研修生に手加減せず向き合った。上には上がいるということを知らされる、徹底的に厳しい稽古だった。

「(坂東)玉三郎さんを迎えて能をやることになった時二〇代の後輩たちは二の足を踏むみたいなきっかけがあった。でも、僕らの世代はこの厳しい稽古の経験があったので、引っ張ってこれたんだと思います」(石塚)。

能や狂言などの古典芸能には、かなり緻密に学ばなければならないことがたくさん



「蓬萊貴譚」2007年11月・佐渡 金井能楽堂



小笠原 匡(おがさわら ただし)

能楽師狂言方和泉流。重要無形文化財総合指定保持者。1965年生まれ。20代で国立能楽堂の研修生となり、初世野村萬、故八世野村万蔵及び九世野村万蔵に師事。千葉大学客員教授。毎年千葉県民話等を題材に創作狂言を劇作・演出。NHK大河ドラマ等での芸能・所作指導も行っている。2015年、芸道30年を機に「延年之會」を発足させた。

ある。リズムの取り方や、間(休符)の感覚。書き表し方も、いわゆる音楽の五線譜とは、まったく異なる独特なものだ。

「松永先生は理論から入る指導の仕方でした。謡本には様々な文字や記号が書き込まれていて、囃子のリズムはそれを見ればわかるようになっていっているんですが、研修生は理解するというよりは、そういう世界があると知る程度だったと思います。謡は目で聞いたまま覚える。相当大変だったと思います。」と本間。

一九九七〜二〇一四年まで講師を務めた松永が高齢のため引退。「私の後はプロから指導を受けるのが良いだろう」との助言を受け、二〇一五年春からはそれまでも佐渡島内に弟子を持っていた東京の朝倉俊樹(玉生流)に指導を依頼した。朝倉が来島するのは年に2回で、冬に謡・春には仕舞を主に学ぶ。また、島内の弟子の青柳洋子がその間に月1、2回ほど稽古をつけている。また、二〇一四年には、観世流の津村禮次郎が「幽玄」の稽古で来島の際、指導を受ける機会もあった。

朝倉や津村の稽古では、能面をかけて視野の狭さに驚いたり、あるいは無数の糸が手

元から広がる「蜘蛛の巣」を投げさせてもらうなど、普通はなかなかできないような経験をすることもできた。

このように一流の講師達が、研修生に様々な角度から能楽の扉を開いてくれた。

また一方では、佐渡島内で能をやっている素人の方々との交流もある。申し合わせ(リハーサル)では、能管や太鼓などの楽器に触らせてくれたりもする。また、演能の後に行う楽屋での慰労会では、研修生も日頃稽古している民謡を歌って場を盛り上げる。

鼓童の舞台と能楽

能楽を学んだ研修生が鼓童のメンバーとなつて関わった公演に、二〇〇七年に行つた「狂言と鼓童のコラボレーション・蓬萊貴譚」と人と鬼仲良うやれさ」というものがある。これは、小笠原の企画で実現した新作狂言。小笠原が書いた台本を佐渡弁に直して、合間に佐渡の芸能を織り交せていった。「鼓童に太鼓を叩かせないで、どこまでできるか」ということで、謡や舞に、鬼太鼓(おんでこ)、春駒(はりごま)、やわらぎなどを組み合わせ

た異色の仮面劇となった。東京、岐阜、静岡などでは通常の劇場での公演だったが、佐渡では金井能楽堂の能舞台で上演された。

そして今年初演された「幽玄」公演。能を題材にし、芸術監督として長年関わってきた坂東玉三郎との集大成ともいえる作品となった。

研修所で能や狂言に触れてきた世代のメンバーが、坂東玉三郎から「次に何をやりたいか」を問われた時、「日本のものをやりたい」という言葉が出たのは自然な流れだったのかもしれない。「幽玄」の準備として始めた発声などの稽古も、研修生時代の皆に共通する経験を下地として、そこから積み上げることができたのではないのか。

「二〇年かけて、『幽玄』に集約されていった」と、石塚は語る。

代表の船橋裕二郎をはじめ、今、舞台に関わる大半のメンバーが、能や狂言を研修生時代に学んだ世代となった。能楽を学んだことで間違いなく、太鼓を叩く上での表現の幅が広がったと言えるだろう。



小平 一誠 こひら いっせい

- Q1. 高校で和太鼓を始めて、地元での鼓童公演を観て、この人達の中にまざりたい!と思ったからです。
- Q2. ツアーで各地をお散歩。すっごくリラックスします。
- Q3. 気に入る。強くならなきゃ…
- Q4. ひたすら打つ! 叩く! 身体全体で和太鼓を感じられる舞台です。自分も「巴」に全てをぶつけます!
- Q5. いのち燃やして精一杯打ち込みます! 劇場でお会いしましょう!

三枝 晴太 さえぐさ せい太 [準メンバー]

- Q1. 決定的なきっかけというより、太鼓が好きで好きで、それはもう好きで好きだったから。
- Q2. 三枝晴太演出の舞台を勝手に想像すること!
- Q3. 極端。
- Q4. 「巴」に最若手のエネルギーをぶつけます!
- Q5. 公演ごとに成長する若手の姿を、これからも応援お願いします!

今月の 鼓童メンバー

毎回、鼓童メンバーの素顔をご紹介するこのコーナー。今月は今まさに好評ツアー中の「打男 DADAN」から、最若手出演メンバーの4人に登場してもらいました。

- Q1. 鼓童に入ったきっかけは?
- Q2. 最近ハマっていること、マイブームを教えてください。
- Q3. 自分の性格を一言であらわすと?
- Q4. 「打男 DADAN」の見どころ、意気込みを教えてください。
- Q5. 読者の皆様へ向けて一言お願いします。



前田 順康 まえだ まさやす

- Q1. 学生の頃、鼓童の舞台から人間としての充実を感じました。佐渡での、研修所での生活を通してそれを得たくて。
- Q2. ツアー先での銭湯、温泉巡り
- Q3. とてもとても長男気質
- Q4. パワフルさ、痛快さはもちろん、繊細さ、心地よさも詰め込んでおります。随所で、幾通りもの男を感じてください。
- Q5. 舞台は演者の努力と、お客様の目に磨かれます。どうか暖かく厳しい目を以て、この若者を観にいらしてください。

木村 佑太 きむら ゆうた [準メンバー]

- Q1. 12歳の時に初めて鼓童の舞台を観て衝撃を受けたから!
- Q2. ケータリングにおいてあるセロリ! 何もつけずに食べてます(笑)
- Q3. 女房役
- Q4. 「段」の最後、全員で打ちまくるラストは迫力満点だと思います! 僕も全力で打ち込みます!!
- Q5. 一つ一つの公演をとにかく全力で頑張りますので、皆様ぜひお越しください!



「打男 DADAN 2017」日本ツアー

1~3月にアメリカで公演を行い、10月から始まった国内ツアーもいよいよ中盤戦。11月後半から12月末まで開催される今年最後の鼓童ツアー、どうぞご注目ください!

【11月後半~12月】

11/18 相模原市、11/19 横須賀市、11/21 名古屋市、11/23 福井市、11/27 新潟市、11/30 佐渡市、12/7 鴻巣市、12/9 越谷市、12/13-14 横浜市、12/16 三島市、12/17 浜松市、12/20-24 東京都文京区

演目図鑑 **炯炯** けいけい

鼓童のサウンドメーカー・住吉佑太作曲、
大人数での担ぎ桶の演奏が印象的な「炯炯」をご紹介します。

(写真:岡本隆史)

曲について

二〇一三年、芸術監督・坂東玉三郎氏の演出第2作「鼓童ワン・アース・ツアー〜神秘」の一幕の最後に大編成で演奏され、強い印象を残した「炯炯」。動きのあるフォーメーションが華やかなこの曲は、今年の「打男」に至るまで様々な公演で演奏されてきた。近年の鼓童を象徴する住吉佑太の作品である。



この曲の初演は、二〇一二年七月、佐渡相川で行われた「鉾山祭」での野外公演。この時の演出・石塚充から住吉へ「ギラギラしていて若々しくて、元気な曲を作って欲しい」と依頼があった。研修生時代より創意の赴くままに作曲を手がけていた住吉だが、演出家から依頼されて作った初めての曲がこの「炯炯」だったという。

「炯炯」とは「目などがキラキラと鋭く光るさま」を表し、この意味合いの通り、初演時はチャイナシンバルなどを取り入れたアップテンポの元気の良い、ギラギラとした曲だったと住吉は語る。また、当初は7〜8人の小編成の曲で演奏された。

このように、住吉曰く「イケイケ」だった曲が、現在のようないくつかの曲になったのは玉三郎氏の発想によるものである。「神秘」の舞台作りの際、

「炯炯を見た玉三郎氏が「これ炯炯は、ゆっくりなジャズっぽい感じが良い」と着想。また、「演奏者が回ったら面白いのではないか」「真ん中に集まって開くように」など、現在のフォーメーションに至る過程も玉三郎氏のアイデア。その結果、担ぎ桶を十何人もが演奏する大編成の曲となった。

「当初は正直戸惑いもありましたが、今ではすごくなじんでいます。人数が増えるとうとうしてもやかましい。かといって少人数ではノリが無い。でも今の「炯炯」は人数が多いけれど気持ち良く聴けて、ノリの深いものになったんじゃないかなと思います」(住吉)。

7〜8歳の頃から曲を作っていたという根っからのサウンドメーカーとも言える住吉。「炯炯」は、住吉自身が高校2年生の時に作った曲のフレーズが元ネタとなっていて、そのフレーズを派生させて作ったという。

住吉は曲づくりにおいて、メモや録音はしないという。「ストックをやりわり、そしてずっと僕の脳内に置いておくんです。と言って、思い出せる部分と思い出せない部分がある。ただ、思い出せないくらいなら大したフレーズじゃないと思うんです。思い出し、淘汰され、それをずっと繰り返すことによって曲にしていきます。新しい曲のことは四六時中考えていますね」と楽しげに語る住吉。今後、彼がどのような新たな音を作り出すのか、そして鼓童がそれをどのように表現していくか、ぜひ注目いただきたい(編集部)



担ぎ桶を演奏する住吉佑太。



住吉は曲づくりにおいて、メモや録音はしないという。「ストックをやりわり、そしてずっと僕の脳内に置いておくんです。と言って、思い出せる部分と思い出せない部分がある。ただ、思い出せないくらいなら大したフレーズじゃないと思うんです。思い出し、淘汰され、それをずっと繰り返すことによって曲にしていきます。新しい曲のことは四六時中考えていますね」と楽しげに語る住吉。今後、彼がどのような新たな音を作り出すのか、そして鼓童がそれをどのように表現していくか、ぜひ注目いただきたい(編集部)

演目アーカイブ

2012年、佐渡・相川「鉾山祭」にて初演。以降、2013年、アース・セレブレーション「城山コンサート」、2013年「鼓童ワン・アース・ツアー〜神秘」、2016年「鼓童創立35周年記念コンサート」、2014年〜17年、国内外での「打男DADAN」公演など様々な公演で演奏される。楽器は神秘以降、担ぎ桶、ジャンガラ、韻、締獅子太鼓で構成される。弱拍(ウラ)と強拍(オモテ)の音符がタイで結ばれ、アクセントの位置が移動する「シンクペーション」を多用したリズムも印象的。CD収録は2014年『神秘』(音大工)。

鼓童が大切にしている“音”

ライター
岩村文雄

「しっかり音を出さないと客席には届きません。しかし、ただ力任せに打てばいいというものではない。質感のある音をきちんと出すことで、広い会場でも隅々まで届かせることができると考えています」。鼓童の前代表で、現在は舞台に立つ傍ら若手の育成にも力を注ぐ見留知弘は、鼓童の音づくりをこう説明する。「研修生には、残像が残るような『打ち込み』、つまり太鼓のど真ん中を叩くことが大切だと教えています」。

太鼓をたたくにはバチが欠かせない。研修生や鼓童のメンバーがバチを手作りする時は、一本の角材で一組のバチを作る。重さや材質が近いものの方が、音質が近くなるからだ。腕の長さや体格に合わせて作ったバチは大切な「相棒」である。自分で作ったバチには愛着が生まれ、折れてしまった時のショックは相当大きいという。バチを作ることや選ぶことから、「音」づくりは始まるのだ。

そして鼓童の音の表現は時代とともに広がりを見せている。「坂東玉三郎さんが芸術監督として指導されてから、繊細な表現ができるようになってきました」と見留は話す。

舞台の演出も数多く手がける石塚充は近年、「耳や体に返ってくる振動が心地よい音」を心がけているという。「玉三郎さんとやるようになってからは、弱い音、柔らかい音をずっと続けて、焦らしに焦らししてからドーンと強い音で終わるとか、変化のある作品が多くなりました。僕らも最初は焦らす演奏をしているのに、自分たちが間が持たなくなることがあったんですが、最近は焦らす間も楽しめるようになってきました」。

また、様々なアーティストとの共演の場で、特に歌もの場合はアレンジャーから音量や音数を抑えるよう指示されるが、そこにどれだけ鼓童の音を足せるかが重要になる。ギリギリのせめぎあいだが、石塚などはそれを楽しんでいるという。

新たな「音」への挑戦～電子の太鼓が目指すもの～

電子技術を取り入れた新しい「音」も誕生しようとしている。昨年1月、「和太鼓が電子楽器でできないか」と、鼓童の坂本雅幸が浜松市に拠点を置く楽器メーカー「ローランド株式会社」を訪ねた。同社は電子ドラムでも業界No1のシェアを誇るが、鼓童側の情熱に応え電子担ぎ太鼓を開発することとなった。

「私自身はイケる、と思いました」と、第1開発部長を務める西裕之さん。「実は、和太鼓の電子化は、ローランドの歴代の開発部長の長年の夢だったんです。ただ、技術的な難易度が高く、なかなか実現できなかった。でも、鼓童さんとの出会いが我々の背中を押してくれました。今後、和太鼓の音色を最新の録音技術で収録し、電子ドラムのセンサーの技術を応用すれば、まだ世の中に存在していない新しい楽器を作ることができるのではないかと思います」。

今年、ECにおいて電子担ぎ太鼓を大太鼓や唄、ダンスと掛け合わせたり、斬新な衣装を取り入れたり
と新たな舞台表現に挑戦した坂本雅幸。「電子担ぎ太鼓という全く新しい視点を取り入れることで思いきったことができた。電子の太鼓は、ただ太鼓の音が出るというだけではなく、アイデア次第で表現者としての広がりを生み出してくれるものだと思います」。

代替品の電子楽器ではなく、電子和太鼓という新たな「音」が誕生すれば、鼓童の舞台の幅もより大きく広がっていくことだろう。



訂正とお詫び
8月号コラム内の写真説明において、鬼太鼓座メンバーが宮本先生を訪ねた年が「1987年」となっていましたが、正しくは「1978年」でした。訂正してお詫びいたします。

賛助会、永年賛助会、支援会、特別支援会会員の皆様には、ヨーロッパ公演の招待案内を同封しています。

鼓童公演

「打男 DADAN 2017」

11/11(土)-12(日)大阪府大阪市

■ 新歌舞伎座
 ■ 11日 17:00開演 / 12日 13:00開演
 ■ S席6,000円、A席4,000円、特別席8,000円
 問 新歌舞伎座 Tel 06-7730-2222

11/18(土)神奈川県相模原市

■ 相模女子大学グリーンホール
 ■ 14:00開演
 ■ 全席5,300円
 問 チケットMove Tel. 042-742-9999

11/19(日)神奈川県横須賀市

■ 横須賀芸術劇場
 ■ 17:00開演
 ■ S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円
 学生券(※全席種半額 小学生~24歳の学生)
 問 横須賀芸術劇場 Tel 046-823-9999

11/21(火)愛知県名古屋

■ 愛知県芸術劇場 大ホール
 ■ 18:30開演
 ■ S席6,500円、A席5,500円、B席4,500円
 問 中日劇場 Tel 052-263-7171

11/23(木・祝)福井県福井市

■ ハーモニーホールふくい
 ■ 16:00開演
 ■ 一般5,000円、学生(小学生~大学生)2,500円
 問 ハーモニーホールふくいチケットセンター
 Tel. 0776-38-8282

11/27(月)新潟県新潟市

■ 新潟県民会館
 ■ 18:30開演
 ■ S席6,000円、A席5,000円
 問 TeNYチケット専用ダイヤル Tel 025-281-8000

11/30(木)新潟県佐渡市

■ アミューズメント佐渡
 ■ 18:30開演
 ■ S席5,000円、A席4,000円
 ※学生(小~高校生)は当日返金あり。
 問 鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

12/7(木)埼玉県鴻巣市

■ 鴻巣市文化センター(クリアこうのす)
 ■ 18:30開演
 ■ S席6,000円、S席学生3,000円、A席5,000円、
 A席学生2,500円(学生券は会館窓口のみ販売)
 問 クリアこうのすチケットセンター
 Tel. 0570-666-534

12/9(土)埼玉県越谷市

■ サンシティ越谷市民ホール
 ■ 14:00開演
 ■ S席6,000円、S席学生3,000円、A席5,000円、
 A席学生2,500円(学生券は会館窓口のみ販売)
 問 チケットポート Tel. 03-5561-9001

12/13(水)-14(木)神奈川県横浜市

■ 神奈川県立音楽堂
 ■ 13日 18:30開演 / 14日 14:00開演
 ■ 全席6,000円、学生券3,000円
 ※学生券は当日座席指定券と引換
 問 tvkチケットカウンター Tel. 0570-003-117

12/16(土)静岡県三島市

■ 三島市民文化会館ゆうゆうホール
 ■ 14:30開演
 ■ 一般5,400円、高校生以下3,000円
 問 イーストン Tel. 055-931-8999

12/17(日)静岡県浜松市

■ 浜松市浜北文化センター
 ■ 16:30開演
 ■ 一般5,400円、高校生以下3,000円
 問 エンボス Tel. 053-412-1010

12/20(水)-24(日)東京都文京区

■ 文京シビックホール 大ホール
 ■ 20日 18:30開演 / 21-24日 14:00開演
 ■ S席7,000円、A席5,000円
 問 チケットスペース Tel. 03-3234-9999

「鼓童ワン・アース・ツアー 2018 ~螺旋」 ヨーロッパツアー

1/30(火)イギリス、ブライトン

■ Brighton Dome
 ■ 19:30開演

2/2(金)イギリス、マンチェスター

■ Manchester Bridgewater Hall
 ■ 19:30開演

2/4(日)イギリス、カンタベリー

■ Marlowe Theatre
 ■ 19:30開演

2/5(月)イギリス、バーミンガム

■ Birmingham Symphony Hall
 ■ 19:30開演

2/7(水)イギリス、ゲーツヘッド

■ The Sage Newcastle
 ■ 19:30開演

2/11(日)オーストリア、ウィーン

■ Wiener Konzerthaus
 ■ 19:30開演

2/18(火)-19(月)ドイツ、ミュンヘン

■ Philharmonie
 ■ 19:30開演

2/21(水)ドイツ、フランクフルト

■ Alte Oper
 ■ 20:00開演

2/22(木)ドイツ、ニュルンベルク

■ Meistersingerhalle
 ■ 20:00開演

2/24(土)ドイツ、ドレスデン

■ Kulturpalast Dresden
 ■ 19:30開演

2/26(月)ドイツ、ベルリン

■ Philharmonie
 ■ 20:00開演

3/2(金)ドイツ、ハノーファー

■ Kuppelsaal
 ■ 19:30開演

3/4(日)ドイツ、シュトゥットガルト

■ Liederhalle
 ■ 19:00開演

3/6(火)ドイツ、デュッセルドルフ

■ Tonhalle
 ■ 20:00開演

3/9(金)イタリア、ローマ

■ Parco della Musica - Sala Santa Cecilia
 ■ 19:30開演

3/14(水)スイス、ジュネーブ

■ Théâtre du Léman Geneve
 ■ 20:30開演

3/16(金)スイス、バーゼル

■ Musical Theater Basel
 ■ 20:00開演

3/17(土)スイス、チューリッヒ

■ Samsung Hall Zurich
 ■ 20:00開演

3/18(日)-19(月)スイス、ルツェルン

■ KKL Lucerne
 ■ 18日 18:30開演 / 19日 19:30開演

3/22(木)エストニア、タリン

■ Nordea Concert Hall

3/29(木)ロシア、サンクトペテルブルク

■ BKZ Oktyabrskiy Big Concert Hall

3/31(土)ロシア、モスクワ

■ Crocus City Hall

ソロ・小編成公演

藤本吉利・容子ゲスト出演
「加藤拓三 和太鼓コンサート'17
夢に向かう一人の恵那人」

11/11(土) 岐阜県中津川市

■常盤座
■13:00開場/14:00開演
■前売 3,000円(当日500円増し)
■ゲスト出演:藤本吉利・容子ほか
■加藤 Tel. 090-8868-7312
岐阜県中津川市福岡公民館
Tel. 0573-72-2144

小島千絵子
「ゆき逢ひ～舞と太鼓の岩戸開き」

11/11(土) 京都府福知山市

■大江町総合会館ホール
■15:30開演
■入場無料
■出演:小島千絵子、TAHほか
■大江元気プロジェクト 鎌田
Tel. 090-1900-2048

小島千絵子×TAH
「花八丈ワークショップ」

11/11(土)-12(日) 京都府福知山市

■夜久野ふれあいプラザ
■11/11 9:00～11:30 初心者コース
受講料 6,000円
■11/12 14:00～17:00 初心者コース
受講料 8,000円
■中丹太鼓おもてなし隊 ワークショップ担当 夜久
Tel. 090-1893-9311

石川さゆり「45周年記念リサイタル」

11/16(木) 東京都世田谷区

■昭和女子大学人見記念講堂
■昼の部12:00開演/夜の部17:00開演
■SS席10,500円、S席8,500円、A席7,500円
■出演:石川さゆり、鼓童(山口幹文、見留知弘、船橋裕一郎、石塚充、草洋介、三浦友恵、渡辺ちひろ)
■サンライズプロモーション東京
Tel. 0570-00-3337 (10:00-18:00)

小島千絵子出演 レナード衛藤
「踊るブレンドラムス」

11/16(木)-17(金) 東京都渋谷区

■代官山・晴れたら空に豆まいて
■18:30開場/19:00開演
■前売4,500円(当日500円増し)
■出演:レナード衛藤(太鼓)、小島千絵子(舞)ほか
■晴れたら空に豆まいて Tel. 03-5456-8880

月兎園 小島千絵子
花八丈合宿ワークショップ

11/18(土)-19(日) 群馬県北群馬郡

■多目的スタジオ月兎園
■料金:20,000円(宿泊、懇親会、朝食付)
■定員:20名
■岡村屋本舗 Tel. 050-3551-8107

月兎園 special LIVE
～小島千絵子と仲間たち 群・踊・奏～

11/19(日) 群馬県北群馬郡

■多目的スタジオ月兎園
■14:30開演
■料金:3,000円(菓子、お茶付) 要予約
■出演:岡村竜司、小島千絵子ほか
■岡村屋本舗 Tel. 050-3551-8107

響和館
小島千絵子流花八丈ワークショップ

11/23(木・祝)、12/23(土)

東京都目黒区
■太鼓の里 響和館
■入門編
11:00～13:30 料金9,720円
■経験者～中級編
14:30～17:30 料金11,880円
■定員:各9名
■太鼓の里 響和館 Tel. 03-3714-2774

藤本容子・鼓童塾同窓会 Special
～ヴォイス・サークル編～

11/25(土) 東京都大田区

■三和ミュージックサロン&スタジオ
■バージョン「風」14:30～16:00
■バージョン「夢」16:30～18:00
■各回:3,500円、連続参加:6,000円
■鼓童塾同窓会事務局(担当:道見)
Tel. 03-3222-1660, Fax. 03-3222-1665,
Email: KYM00620@nifty.ne.jp

藤本容子・鼓童塾同窓会 Special
～ライブ編「Echo of Life」～

11/26(日) 東京都大田区

■三和ミュージックサロン&スタジオ
■14:30開場/15:00開演
■前売 4,000円(当日500円増し)
■出演:藤本容子、富成千之(10弦ギター)
■鼓童塾同窓会事務局(担当:道見)
Tel. 03-3222-1660, Fax. 03-3222-1665,
Email: KYM00620@nifty.ne.jp

山口幹文出演
「二管の綾 風の彩り」真行寺公演

11/26(日) 新潟県上越市

■上越市直江津北口「真行寺」
■15:30開場/16:00開演
■入場料2,000円(前売りのみ)
■出演:山口幹文(真笛・篠笛)、森美和子(篠笛)
■ユクリ Email: yukuri2000@gmail.com

山口幹文出演
「一管風月～彼方より」

11/30(木) 大阪府大阪市

■YOSHU HALL(よしゅうホール)
■17:45開場/18:30開演
■料金3,000円(当日500円増し)
■出演:山口幹文(真笛・篠笛)柳原由佳(ピアノ)
■風月舎
Tel. 090-2153-7261/080-8884-8195

藤本吉利、小島千絵子、山口幹文出演
しゅんまんぼうたまてばこ
七珍万宝玉手箱

12/2(土) 愛媛県松山市

■愛媛県生涯学習センター 県民小劇場
■13:30開場/14:00開演
■前売 4,000円(当日500円増し)
全席指定、未就学児の入場はご遠慮ください。
■出演:鼓童(藤本吉利、小島千絵子、山口幹文)ほか
■伊豫愛太鼓倶楽部 Tel. 090-1005-3108

小島千絵子ゲスト出演
Kaoru Watanabe ～音緒Néo～

12/5(火) 東京都港区

■SuperDeluxe
■19:30開場/開演 20:00
■前売3,000円(当日500円増し)
■出演:渡辺薫 ゲスト出演:小島千絵子ほか
■SuperDeluxe
https://www.super-deluxe.com/

読者の皆様のコーナー

鼓童と読者の皆様の交流コーナー。第3回目となる今回のお題は、8月号で募集した小島千絵子からの「あなたが考える鼓童グッズ～あんなもの!こんなもの!」。「なるほど」と思うものから、「そう来ましたか!」というアイデアまで、沢山お寄せいただきました。販売部スタッフと早速、商品化会議へと移らせていただくかも!?! お楽しみに!

今月のお題

あなたが考える鼓童グッズ
あんなもの!こんなもの!

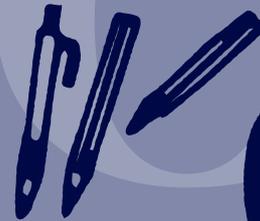
裂織りを使って作る文庫カバー、新書カバー
(静岡県・和田順子さん・女性・50代)

ポロシャツが欲しいです。ある程度の年代になると、襟のあるシャツのほうがいいです。あと、ロングTシャツも欲しいです。真夏は日焼け防止にロングTシャツが良いです。その他、やはり真夏は暑いので、帽子があると良いです。宜しくお願いします!
(東京都・近藤嗣仁さん・男性・40代)

鼓童の祝儀袋が欲しいです!!

袋の周りは布製(布を折り畳んで)できていて、提灯の鼓童のマークやうろこ模様(鼓童オリジナルの絵柄)が入っていて、祝儀袋を開けると袋の周りの布は手ぬぐいとして使用もできる。もらって2度嬉しい、一石二鳥の「鼓童祝儀袋」(笑)
(静岡県・奏美と秀也のパパさん・男性・30代)

・太鼓(楽器)のチャーム
・写真集
・中込サンの楽譜挿絵のグッズ
(京都府・hiroさん・女性・30代)



- ①鼓童なりきりグッズ(特に子供向けに)
- ・鼓童の半纏ガラのTシャツ(赤や黄色、緑など、色付き半纏も)
 - ・ふんどし、ふんどしパンツ(肌色でお尻が出ている様に見えるやつとか?)
 - ・ハチマキ
 - ・地下足袋に見える靴下
 - ・三つ巴柄の太鼓に見える丸い座布団(クッション製のバチ付き)

- ②鼓童の絵本
- ・やまいもくん、ぶたばなちゃん
 - ・メンバーの実体験、メンバーになるまで、感動エピソード
- (東京都・たかはしりょうまくん・男の子・4歳)

- ・マグカップ(安っぽい物ではなく質の良い鼓童らしいデザイン!粉引きなど…)
 - ・キーホルダー(数種類)
 - ・クリスマスやお正月に予約制などで福袋
 - ・Tシャツだけでなくトレーナーやパーカーなども
 - ・うちわ
 - ・ノート、ボールペン、シャープペン、ファイル
 - ・ポチ袋、レターセット
- 鼓童グッズ沢山増やして頂けたら嬉しいです!
新しい商品楽しみです。
(福岡県・おぶちゃんさん・女性・40代)



●次号、冬号(2月)のお題は?

投稿お待ちしております!

山口幹文より「音楽の役割とは何でしょうか」

山口幹文らしい、少し難しい(?)質問が届きました。あなたにとって、人類にとって、何でも結構です!深く考えてくださってもよし、シンプルに感じたまま答えてくださってもよし、どしどしお寄せください。

「お名前(もしくはペンネーム)」「鼓童の会会員番号」「住所」「性別」「年代」「お答え」を明記の上、メール、ファクスもしくはお葉書にて[12月25日(月)]までにお寄せください。お答えいただいた方に抽選で3名様に「山口幹文サイン入り鼓童グッズ」をプレゼントいたします。

■Email, Fax

メールアドレス: friends@kodo.or.jp Fax.0259-86-3631

タイトルを「鼓童機関誌読者コーナー投稿」と明記の上、お送りください。

■お葉書

〒952-0611 佐渡市小木金田新田148-1 鼓童村
「鼓童機関誌読者コーナー」係までお送りください。



鼓童オンラインストアからのお知らせ

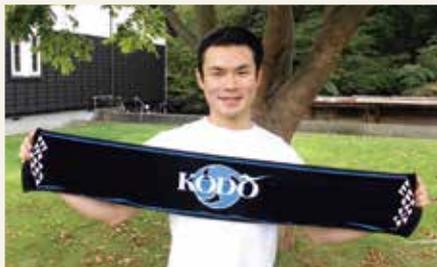
■鼓童カレンダー

鼓童カレンダー2018年版も全ページカラー写真(予定)オンラインストア、ツアー会場でも販売いたします。

フルカラー16ページ 価格:1,500円(税込) 11月下旬より発売予定

■鼓童タオル 新色登場

ご好評いただいております鼓童タオルに新色が登場いたしました。タオルの名産地「四国今治」で染めておりますので、安心してお使いいただけます。



価格:1,500円(税込)
綿100%・20cm×110cm・日本製

■鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで

Tel. 0259-86-3630(販売部) <http://www.kodo.or.jp/store/>

鼓童の会 会員限定プレゼント

今号の表紙を飾り、EC初日をもの凄いパワーで彩った梶原徹也、ブラフマン、EIJI SUZUKI、そして鼓童より小田洋介、坂本雅幸、中込健太の出演者全員のサイン入りECTシャツ(XL)を限定1名様にサプライズプレゼント! またとない1枚、ご応募お待ちしております。



<申込方法>会員番号、お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、Eメール、ファクス、お葉書などでお申し込みください。12月25日(月)締切。新年1月中の発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。

■お申込み/〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1
鼓童の会「ECサイン入りTシャツ」プレゼント係
Email: friends@kodo.or.jp Fax. 0259-86-3631

メンバー短信

●鼓童メンバーの前田剛史が9月末日をもって退団、坂本雅幸が12月をもって退団することとなりました。また、鼓童文化財団スタッフの十河伸一が11月をもって退職することとなりました。お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。

鼓童文化財団・ 設立20周年記念イベント

1 鼓童の会会員の集い

会員の皆さんへの感謝を表す会を開催。また、永六輔さんと鼓童の関わりを振り返り、感謝をお伝えする機会といたします。

- 日時/12月22日(金) 16:30~18:00
- 会場/文京シビックセンター26階・スカイホール
- 参加予定/鼓童(小島千絵子、藤本容子、齊藤栄一ほか)
- ゲスト/永麻理さん ■参加費/無料
- 定員/約60名様(会員お一人につき2名様まで同伴可)

2 日本海大学セミナー

1970年代に民俗学者・宮本常一により提唱され、鼓童誕生の原点となった「日本海大学構想」。日本海大学が目指したものと、現代における意味について、当時を知る関係者、研究者と共に考えます。

- 日時/12月23日(土) 10:30~12:00
- 会場/文京シビックセンター26階・スカイホール
- 参加予定/五十嵐実、島崎信ほか
- 会場利用協力費/1,000円(当日収受いたします)
- 定員/約60名様(会員に限らずどなたでも参加いただけます)

■申込み方法

Eメールまたはファクス(件名を「財団イベント参加申込み」としてください)/参加を希望するイベント名、代表者のお名前・電話番号・参加案内の返信先(メールアドレスまたはファクス番号)、参加人数、鼓童の会会員番号(会員の集いは必須)をお知らせください/先着順で定員に達し次第受け付けを終了いたします。

■受付開始/11月18日(土)

■お申込み

佐渡太鼓体験交流館(9:00~17:00・月曜休館)担当・本間康子
Email: info@sadotaiken.jp Fax. 0259-86-2385

たたこう館
からの
お知らせ

特別企画「しんちゃんせんせいと太鼓体験」

しんちゃんせんせいと一緒に太鼓を楽しんでみませんか!

■日時/11月23日(木・祝) 14:00~15:30 ■料金/大人も子どももみんな1,000円! ■定員/30名様(事前にご予約ください)

たたこう館まつり ■日時/12月10日(日)

「あったか、ほっこり、わくわく」のたたこう館まつり、今年も開催します!

のれんのリニューアルについて

新しいのれんへ名義掲載の許可をいただいた会員様のお名前を、たたこう館サイトでご確認いただけます。

■会場・お問合せ・お申込み/佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)
Tel. 0259-86-2320 Fax. 0259-86-2385 (9:00~17:00・月曜休館)
Email: info@sadotaiken.jp <http://www.sadotaiken.jp/>



**アース・セレブレーション2017、
ご来場誠にありがとうございました！**



来年のECは2018年8月17日(金)～19日(日)開催。また真夏の佐渡でお会いしましょう！

最新情報は、[ウェブサイト](#) [facebook](#) [Twitter](#) [メルマガ](#) をご覧ください。

[f @KodoHeartbeatJp](#) [t @KodoHeartbeat](#) [i @kodoheartbeat](#)

鼓童 検索 <http://www.kodo.or.jp>

その他、鼓童へのお問い合わせはこちらへ
Tel. 0259-86-3630(代) (月～金 9:30～17:00)
Fax. 0259-86-3631
 次号は2月10日の発行を予定しています。

KODŌ vol. 368

鼓童 2017年11月10日発行(年4回 2月/5月/8月/11月) ©発行/鼓童 〒952-0611新潟県佐渡市小木金田新田148-1
 Tel. 0259-86-3630 Fax. 0259-86-3631 Email: heartbeat@kodo.or.jp http://www.kodo.or.jp
 ©発行責任者/菅野敦司 ©企画・構成/(公財)鼓童文化財団 ©デザイン・編集・印刷/(株)第一印刷所
 ©郵便振替/00680-2-13115 鼓童の会 年間購読料3,000円(送料/購読料は会費に含まれます)